



# 不思議ふしぎ!?

京都に隠れた意外な秘密を紹介します

歴史や文化、全てが源流へとたどり着く古都。京都を知ることが日本を理解すること。

京都好きを大好きに



第10回 京都検定は  
12月8日(日)

## 京都御所の消える石!?

京都は北へ行くことを「上がる」、南へ行くことを「下がる」といいます。本来、天皇がおられる内裏へ近づくことを「上がる」、遠ざかることを「下がる」といったのですが、実際に北が高く、南が低い京都の地勢とあいまってこうした表現が定着しました。

この高低差を眼で確認できるのが京都御所、築地塀の基礎石です。意外に気付かない人が多いのですが、御所を南から北に築地塀に沿って歩いてみてください。あれあれ? 積まれた石がどんどん消えて行くではありませんか! 南端には大石が三つも積まれているのに、北端の猿ヶ辻ではわずか数センチの薄い石が一個だけ。その

差約150センチ、女性の背丈ほどです。南北450メートルほどの御所でこんなに差があるのです。京都マラソンの高低差で有名ですが、千本北大路あたりの標高が約90メートル、東寺付近が約22メートルで、直線距離が約5.5キロほどですから、平均すると京都の街は南から北へ100メートルで80センチ弱ほど高くなる計算です。御所付近は中心地です

からそれほどの差はありませんが、それでもこんなに違うのですね。是非実感してみてください。

(京都学園大学非常勤准教授堤勇一)



京都御所北端の積み石



清所門前の積み石



京都御所南端の積み石



京都御所

### 京都検定 過去問にチャレンジ = 京都御所編 =

- (1) 京都御所の寛政度に行われた造営は、有職故実家( )が作成した「大内裏図考証」に基づいて復元された。(平成22年度 1級)
- (2) 京都御所の紫宸殿は( )を向いて立っており、前庭には左近の桜、右近の橋が植えられている。(平成22年度 3級)

【解答】(1) 裏松固禪 (2) 南